

球磨版

球磨総局

あさぎり町 田東3156-2
電話 (0966)45-1110
FAX (0966)45-0399

販売取次所

- 岩野地区 大川商店 ☎44-0126
- 敷屋地区 米本商店 ☎46-1010
- 古湯地区 栗須販売店 ☎43-3223
- 岡原地区 松尾販売店 ☎45-3468
- 上地区 蔵座販売店 ☎47-0203
- 須恵地区 平川販売店 ☎090-5489-4751
- 武蔵地区 ニューつねまつ ☎38-1003
- 球磨地区 岩崎理髪店 ☎33-0021
- 相良地区 徳益食堂 ☎24-4011
- 山江地区 留酒 ☎23-4974

お酒は20歳を過ぎてから

風味芳醇
晚酌には



あさぎり町 上北169番地1
(0966)4511118

あさぎり町が完全制覇

球磨人吉消防ラッパ吹奏競技前回大会に続き



第1部(団体の部)でラッパ吹奏を披露するあさぎり町消防団

第24回球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会は1日、あさぎり町須恵文化ホールで開かれ、第1部、第2部の団体、個人ともあさぎり町消防団が優勝。前回大会に続き、4冠を達成した。

県内で唯一の同大会は、郡市町村の消防団員の消防ラッパ吹奏技術の向上と消防規律の維持、士気の高揚を図ろうと、熊本県消防協会球磨支部の主催、

同協同人吉支部の共催で2年に一度開催。

午前9時半から行われた開会式では、同球磨支部支部長の松野三千夫大会会長が「県内で唯一、球磨人吉だけで行われている歴史あるわれわれの誇りとす

る大会。これまでの練習の成果を十二分に発揮し団員一致団結して頑張っしてほしい」とあいさつ。

多くの来賓を代表し、県消防協会の山本一樹

会長と天上雅義代議士、松田三郎県議、球磨郡町村会の内山慶治

会長が祝辞。前回大会の第1部団体の部優勝のあさぎり町消防団が優勝旗を返還し、同消防団の北崎慎也さんが「口ごとの練習の成果を十二分に発揮し、一人一人魂で全力で演奏することを誓います」と力強く選手宣誓した。

競技は、指定曲と消防ラッパ教本から選曲した選定曲を披露する第1部と自由選曲の第2部の2部構成。両部とも団体戦、個人戦が行われ、各市町村のラッパ手たちはきびきびとした動きで練習の成果を披露。

人吉第一中学校講師の椎葉廣樹さんを審査委員長とする審査員5人で消防規律とラッパの技術を審査し順位を決めた。

あさぎり町消防団の指揮者とラッパ長を務めた北崎さん(29)は

「団員たちは7月ごろから練習を頑張ってきた。前回大会ですごい成績を収めていたのでフレッシュはあったけど、今回も全部門で優勝することができうれしい」と話していた。

成績は次のとおり

【第1部】

▽団体の部

①あさぎり町②湯前町③相良村

※敢闘賞 人吉市

▽個人の部

①川田千尋(あさぎり町)②菅野元則(多良木町)③安井佳奈湯前町

※敢闘賞 立開光義(錦町)

【第2部】

▽団体の部

①あさぎり町②相良村③湯前町

※敢闘賞 錦町

▽個人の部

①野々脇恵理子(あさぎり町)②那須由香(湯前町)③右田千晴(同)

※敢闘賞 浅生幸(錦町)

ずい道や水戸神社見聞

久米小300年前の先人に思いはせ

多良木町久米小学校(松岡里益校長)の4年生12人はこのほど、世界かんがい施設遺産で日本遺産構成群の一つの幸野溝について、ずい道や水戸神社など現地を学習した。

水田開発を目的に約300年前、血がにじむ思いで先人が開発した幸野溝(幹線水路総延長15.4キ、かんがい面積1379畝)。球磨川から取水され、湯

講師に幸野溝土地改良区(宮原辰紀理事)の職員2人を迎え、最初に幸野溝の祭神である水戸神社(湯前町浜川)で説明を受けた。

幸野溝が完成した1705(宝永2)年に創建した同神社は、昭35年の市房第二ダムの完成で取り入れ口が水没し約600以下流の新取り入れ口近くに移されたが、建物が老朽

化し再び元の場所に移されている。

講師から幸野溝の位置、相良藩の命を受けて同溝を開削した高橋政重翁、取水施設の今と昔、古城台地に掘られたずい道、幸野溝の

造られたのときの苦名前の由来を説明を受けて、児童は「

深めた。



幸野溝の歴史を学ぶ児童たち

幸野ミカン狩りに招待

岩野 小笠り里川月香二週目

月のお年玉で配られ、村外から任

て来て販売していた。ルーツは、鹿見

の説が有力とされる。

平成のころに卒業記念で植樹され

る。

の

の